

子供の手足口病感染へのサポート

普段からフラワーエッセンスには慣れている女の子の症例です。

夏休みのサマーキャンプに参加し、キャンプで食べた食事が美味しすぎて食べすぎ、帰りのバスで吐いてしまい熱も微熱が発症。

その1週間後、弟さんがかかった手足口病に感染。口内炎が喉までできていて、痛くて食べ物を飲み込めないため「食べられない、気持ち悪い」状態が三週間続いてしまい、弱りきっていました。

Iさんは、まもなく7歳を迎えようとしていて、大人の歯が3本生え始めていたところ、分岐点でもあります。こういう背景を持ってサマーキャンプに参加しています。

手足口病が最初に発症した弟さんは、口に口内炎ができていても、食欲は落ちず体力を温存できていたので、Iさんはサマーキャンプでかなり疲れが出ていたと想像できましたし、慣れない場所で人への気疲れも想像できました。

このあと、家族と共に帰省の計画もあったので、5フラワーのシュガーを携帯してもらうことにし、様子を観ることにしました。

処方>>

- ウォルナット：歯が生え変える時期
- クラブアップル：感染症による予防と治療を兼ねる
- カモミール：食べ過ぎによる吐き気
- オリーブ○セルフヒール：3週間も長引いてしまった感染症や食欲減退に
- ミムラス：痛みで食べるのが怖い
- +随時：5フラワー

その他には、食事が喉を通らずエネルギー不足対応に麴甘酒をお勧めしました。

経過>>

翌日には吐き気、気持ち悪さ、息苦しさを訴えてくる頻度が減り、1、2日で落ち着きました。

1週間後には食欲がやや改善し、明るさや活気が戻りました。帰省中も安定した食欲で吐き気も落ち着いていたそうです。ところが手足口病感染以降、Iさんは自分の顔色に敏感になり「今日の顔色はどう？」と、毎日不安で聞いてくることもあったそうですので、2学期が始まると緊張も戻ってくるので、続けて処方をお願いしました。

新学前の少々不安な時も問題なく登校でき、学校給食も食べられ少しずつ食欲が戻り、9月中旬になると食欲も旺盛になってきたようです。

11月にバスでの遠足があるので、「また吐いたらどうしよう」と心配していたので、バスでは前の席に座って5フラワー（レスキュー）を持参し、ラムネタイプの酔い止めを用意し、注意を万全にされ、結局吐くことはなかったそうです。

夏休みのサマーキャンプから戻って、手足口病、食欲減退によって体力が弱っていましたが、
こうして学校が始まってからは体力も回復し、トラウマも無く無事にバスでの遠足も楽しんで帰って
こられました。

ことほぎの響き 岩崎恵美